

シンハラ語検定4級の試験形式とポイント

<4級>日常のシンハラ語

- ・程度：基礎的な日常的シンハラ語を理解し、読み、聞くことができる。
- ・主な場面想定：家庭、学校、地域、電話、アナウンスなど
主な話題：家族、友達、学校、趣味、買い物、食事、天気、道案内、自己紹介、近況報告、予定など
- ・試験内容

- ①読む：基礎的な単文の構成と文意の理解。基礎的な対話の理解。
- ②聞く：基礎的な文の聞き分け、日常使われる基礎的応答表現の理解、数の聞き取り。
- ③文法：基礎的な日常表現の単文を構成するのに必要な文法的知識。

・試験形式

筆記：問題数 35 問、試験時間 35 分。満点スコア 500。

聞き取り：問題数 30 問、試験時間 30 分。満点スコア 500。

合格基準スコアは 622(ただし、各技能のバランスでの合否判定基準あり)

【筆記】

①適切な語句を選ぶ問題：15 問

4つの単語選択肢から1つを選択。

前後の語句とのつながりに注意して、文の意味が通じるか判断する。

②適切な会話表現を選ぶ問題：10 問

4つの文選択肢から1つを選択。

会話の場面を想像しながら、会話の成り立ちを想像する。

③読解問題：10 問

シンハラ語の文を読み、内容に関する質問に答えたり、内容に合うように文を完成させたりする。

【聞き取り】

①会話を完成させる問題：10 問

イラストを見ながら会話を聞き、その会話に対する応答として最も相応しいものを選択肢から選択。

②会話の内容を聞き取る問題：10 問

会話とその内容に関する質問を聞き、内容に関する質問の答えを選択肢から選択。

イラストはなし。

③シンハラ語文の内容に関する質問に答える問題：10 問

短いシンハラ語文を聞き、内容に関する質問に答えを選択肢から選択。